

平成24年度 評価計画及び自己評価

(計画・**中間**・最終)

呉市立昭和北中学校区 校番24 学校名 呉市立昭和西小学校

a 学校教育目標	ゆたかな心 (ほめる) ～しあわせづくり～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> (学校の使命) 「行きたい学校, 行かせたい学校」 <ビジョン> (将来の学校像) ○ 児童・教職員が自信と誇りを持てる学校 ○ 環境が整備され, 豊かさと規律ある美しい学校 ○ 保護者, 地域と共に歩み, 信頼される学校
----------	--------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本校は, 経済的にも家庭的にも厳しい状況の家庭が多く, 家庭の教育力の差もあり, 基本的な生活習慣・規範意識が身につけていない児童がいる。西小四原則の中で「挨拶ができる」「時間を守る」は改善されてきたが「返事ができる」「掃除ができる」は, 十分に達成されていない。また, 一斉授業に参加しにくい児童や素直に指導を受け入れにくい児童がおり, 基礎学力の定着が不十分である。運動能力についても十分に身につけていない。保護者連携においても考え方のずれや自己中心的な考えのため円滑に進まない場合もある。本年度, 児童の基礎学力, 基礎運動能力を向上させること, ゆたかな心を育成していくことが, 重要な課題である。
------------------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	8月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	学習規律を定着させ, 基礎学力を確実に身に付けさせる。	○ 学力向上をめざし児童が分かる授業づくり。(貫) ○ 体力・運動能力の向上を図る。(持久力)(貫)	○ 「西小学習パターン」の徹底を図る。 ○ 算数科の授業研究を通して授業改善に取り組む。 ○ 体育の授業の工夫。 ○ 休憩時間の活用。	・算数科, 学期末のテストの平均点 ・体育の時間に持久力を高める運動を取り入れる。	80%	88	88	B			
**	規範意識を身につけさせ, 思いやりの心を育てる。	○ 気持ちの良い挨拶を徹底させる。(貫) ○ 整った学習環境をつくる。	○ 教職員自らが範を示す。(あいさつ, 返事, 時間, 掃除) ○ やり直しを徹底させる。 ○ 異年齢集団を効果的に使い「たてわり掃除」を定着させる。	・「大きな声で返事ができた」児童の割合(児童・教師) ・「自分の掃除で学校が美しくなった」と思う児童の割合	80%	児童 86 教師 64	108 80	A B			
*	積極的に情報を発信し, 安全で保護者, 地域から信頼される学校にする。	○ 保護者, 地域とのつながりを深める。 ○ 学校と家庭で読書をさせる。	○ 学校便りの発行, 学校ホームページ更新を行い, 学校の考え方, 学校の様子を広報する。 ○ 地域人材を積極的に登用し, 協育を通して信頼関係を築く。 ○ 個々に応じた具体的な読書冊数の目標を立てさせる。 ○ 年間50000冊	・学校だよりを月に1回発行 ・ホームページを週に1回更新 ・各学年で年間1回ゲストティーチャーを招いた取組をする。 ・低学年150冊 中学年100冊 高学年75冊	90%	200 300	222 333	A A			
					80%	50	63	C			
					80%	71	89	B			

【k: 評価】
 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

平成24年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

昭和中学校区 校番24 学校名 呉市立昭和西小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標、理念は校是としての不易の実践で適切である。 ・ 校長を中心に、教職員・保護者・地域住民が協力し合って取組を進めている。 ・ 目標値の高いことが望ましいが、少し高すぎると思われる。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が「学校は楽しいところ」と思えるように、微に入り細に入り方策が適切に設定されている。 ・ 十分に思いやりのある方策が設定されている。 ・ 方策は欲張らないで焦点を絞り、ゆとりを持って取り組んでもらいたい。 ・ やり直しの徹底とか「たてわり掃除」の定着等、具体的でよい。 ・ 根負けしないで、大きな声で元気に発表させる工夫が必要である。 ・ 「西小学習パターン」の徹底化を強化すること。 ・ 各学年ごとにマスターすべきことは徹底指導すること。 ・ 読書冊数の目標値を具体的に示してはどうか。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの取り方等、微妙な点もあるが、適切に分析されている。 ・ 成果にエネルギーを使いすぎないように、のびのびした教育活動ができるような工夫と配慮が望まれる。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ その細かくめいたかい方策が設定されている。 ・ 適切であり、そのように改善されたらベストである。 ・ 問題や課題が多い中、欲張らないでゆとりを持って取り組んでもらいたい。 ・ 教育は、情熱・感動と感化を与えられるよう望む。 ・ 6年生をリーダーとした、たてわり掃除の成果からか、学校が日々きれいになっていて明るい感じがする。 ・ 将来の社会生活においても体力を高めることは、とても重要なことである。発達に応じた遊びが必要である。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した教育活動が、バランスよく工夫されている。 ・ ゆとりを持って、校長を中心に根気強く実践されたい。 ・ 保護者・地域住民からの理不尽な要求・誹謗・中傷に対しては、関係者と協議し毅然と対応すること。 ・ 広報については、高齢者が多いので「西風通信」的なものが望ましい。 ・ 学校からの情報発信がとても細かくて、大変嬉しく思う。 ・ 授業参観では、児童がしっかり聞いて落ち着いて学習していた。 ・ ランドセル・履物等もきちんと整頓されている。トイレ等も掃除が行き届きスリッパもきれいに揃えられていた。「美しい学校」を感じた。 ・ 異学年グループで登校している。上級生が下級生に対して優しく気配りし、表情が明るく学校が楽しそうに見える。 ・ 最近のニュース等、いじめ問題はやはり小学生時代の教育が大きいと思う。命の学習を取り入れてはどうか。 ・ 各教室の展示物等が整理されて気持ちよかった。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成のための方策と指標については、今後焦点を絞るための見直しを図り、次年度に向けて適切なものにしていく。 ・ 「西風タイム」で習熟度別学習を行い、既習の学習内容を理解していない児童を集中して支援し、各学年ごとにマスターすべきことを定着させる。 ・ 「大きな声で返事ができた」については、児童アンケートの結果は到達度が100%を超えているが、授業観察や日頃の態度から、まだまだ課題がある。今後も引き続き発達段階に応じた指導をしていく。 ・ 読書冊数の目標値を一人一人に具体的に示し、目標値を達成するように指導していく。
--------------------	---

平成24年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間・最終)

昭和中中学校区 校番24 学校名 呉市立昭和西小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
確かな学力の定着	○学習規律を定着させ、基礎学力を確実に身に付けさせる。	○学力向上をめざし児童が分かる授業づくり。 貫	・ほとんどの学級で、平均点が80点以上となっている。 ・「授業中はしっかり聞き、まじめに学習しています。」と答えた児童の割合は90%であった。しかし、「児童は、授業中だまって話を聞いている。」と答えた教職員の割合が67%であった。児童と教職員の意識のずれが見られる。	・「のびっ子タイム」の時間(13時50分～14時)に、読み・書き・計算を中心とした反復練習を継続して実施する。 ・「西風タイム」の時間(水曜日の5校時)を活用し、算数(9・11月)と国語(10・12月)の個の理解度に応じた習熟度別学習を実施する。
		○体力・運動能力の向上を図る。(持久力) 貫	・体育の時間に持久力を高める運動を取り入れた学級は、59%であった。2学期から、持久力を高める運動を積極的に取り入れていく必要がある。 ・運動会、水泳指導の時間が多かったため取組が進めにくかった。	・体育の時間に持久力を高める運動を取り入れるために、体育の時間に取り入れることのできる持久力を高めるための運動について、体育主任を中心とした研修会を開く。 ・10月から、月・水・金曜日の大休憩終了の予鈴後、3分間持久走を行う。
自他の尊重	○規範意識を身につけさせ、思いやりの心を育てる。	○気持ちの良い挨拶を徹底させる。 貫	・1年生の「大きな声で返事ができた」児童の割合が86%と一番高かった。 ・保護者のアンケート結果も84%と高かったが、教職員のアンケート結果は64%と低かった。児童・保護者と教職員の意識のずれが見られる。	・今後は、教職員から見ても大きな声で返事ができていると認めることができるように、授業中だけでなく朝会や儀式等でも評価し、大きな声で返事ができるように繰り返し指導していく。
		○整った学習環境をつくる。	・全校児童の92%の児童が、「自分の掃除で学校が美しくなった」と答えている。また、教職員全員が「児童はそうじを一生懸命取り組んでいる。(児童は、自分の掃除で学校が美しくなったと思っている。)」と答えている。	・今年度の6月から始めた、たてわり班掃除を、今後とも充実させながら続けていく。 ・6年生児童を、たてわり班掃除のリーダーとして育てていく。 ・6年生が掃除のよさを1～5年生に伝えたり、感じたりできるようにしていく。 ・「静かにそうじ」「すみずみまでそうじ」の取組を進めていく。
協育	○積極的に情報を発信し、安全で保護者、地域から信頼される学校にする。	○保護者、地域とのつながりを深める。	・1学期中に、学校便りは10号発行、学校ホームページは66回更新した。 ・ゲストティーチャーを招いた取組は、8学級で実施した。	・今後とも、学校便り月に1回以上、学校ホームページを週に1回以上更新していく。 ・まだゲストティーチャーを招いた取組を実施してない学級については、授業の中にもどのように取り入れていけばよいのか検討して取り入れる。 ・来年度の年間指導計画の中に、ゲストティーチャーを招いた取組を位置づけておく。
		○学校と家庭で読書をさせる。	・読書冊数が1学期の内に目標に達した学級が71%であった。 ・クラスによって達成状況にバラツキがあった。	・年間目標冊数を児童にとってわかりやすい目標にするために、「〇月に〇冊読もう。」というように、スモールステップによる目標冊数を提示する。 ・学年に応じた読書カードを作成し、記録に残す。 ・図書委員会の活動内容を工夫する。 (秋の読書週間、読み聞かせ会、図書貸し出し等) ・読書の冊数だけでなく、読書の内容についても充実させる。